

# グロ探通信

01号

★編集★  
グロ探  
通信班

# 令和6年度のG探,始動★

## G探アドバイザー高橋さん講演&探究発表&交流会



講師の高橋孝弥さん(筑波大3年)

令和6年度のG探は、創立以来過去最高人数となる24名の新入生を迎えました！5期生のみならず、山田高校グローバル探究科を選んでくれてありがとうございます！さらにパワーアップして、今年も頑張っていきたいと思えます。

さて、去る4月11日には、G探恒例の「探究びらき講演」が行われました。講師は、昨年に引き続き、筑波大学3年生でG探アドバイザーでもある、高橋孝弥さん。この講演のただけに、筑波から来てくれました。お話を聞くのは、1・2年生の33名です。

高橋さんのお話の中で「探



1年生、しっかり聞いてます！

究とはものごとの本質を探ること。正解のない問いに對して、最善の解を探す営みです。一と探究を表現してくれました。たぐさんのものごと、そして人との出会いが、自分を大きく変えていくのだと生徒たちに語りかけます。生徒たちはメモを取りながら、真剣に聞いていました。一方で、高橋さんからの質問に対しては、1年生が積極的に対応し、手を挙げて答え、コミュニケーションをとっている姿が見られ、とても頼もしかったです！まだ入学4日目なのに、聞くと話すがどちらもできていた1年生。将来が楽しみです。



発表をする2年生、発表を聞く1年生

高橋さんのお話を受けて生徒からは、「探究の授業が楽しそうだなと思うことができました。」「探究の全体像が掴めた。」(1年生)

「個人探究の始まりにあたり(テーマ決め)に悩んでいた。よい問いを見つけたい。」「テーマを問いに発展させる方法がわからなかった。今日の話参考にした。」(2年生)といった感想が寄せられました。

2時間目は、新入生と留学生のミラちゃんに向けて、日本語と英語で昨年の活動の成果を発表しました。昨年、もがき苦しみ、でも決して諦めることなく形にした英語発表。2年生からは落ち着きと自信がうかがえました。



縦割り班になって交流する1~3年生

3時間目からは3年生も合流し、G探交流会を行いました。縦割り班に分かれて、まずは名札づくりと自己紹介です。自己紹介では、副学科長のテンポのいい進行のもと、学科長が勧めの音楽を流し、生徒はどんどんぬいぐるみを回していきます。音楽が止まった時にぬいぐるみを持っていく人が、まずは英語で自己紹介。あとはどんな難易度が上がり、ぬいぐるみをもっている人の両側の人を他己紹介をし、最後は名札を外して、席もシャッフルして他己紹介。縦割り班の6班とも、和気あいあいと交流していました。

交流会の最後には、月末実施の探究運動会に向けて、班の名前を決め、実施

したい競技について話し合います。生徒が自分たちで決めた班名が面白かったので紹介しますね。

○「チョウチンアンコウの肝」班。楽しむ！ 勝つ！の心意気です。

○「シユモクザメ」班。配られたぬいぐるみがシユモクザメだったので。楽しみながら頑張るとコメントをくれます。

○「CCレモン」班。暫定名が「C班」だったので。いち早く名前が決まった、結束力ある班です。

○「海賊王」。協力して、優勝！という意気込みが寄せられています。覚悟がうかがえますね。

○「マリオ」班。ほかの候補には「トップバリユ」のこの山「たべっこどうぶつ」などがありました。自由な発想を誇る班です。

○「スヴェン」班。配られたぬいぐるみが「スヴェン」だったところから。全力で楽しみ、仲良くなります！という意気込みを寄せてくれました。

総勢44名で始まる今年のG探。楽しんで頑張ります！

